

松本先生のサポートのもと、
治すのは自分自身の免疫です。

「メニエール病治療の途中経過」匿名希望 59歳

2017年5月6日

2014年10月、突然右耳に閉塞感を感じました。不安を感じて近くの耳鼻科を受診したところ突発性難聴と診断されました。1週間後、症状がすっかりしないので日赤病院を紹介されました。日赤でも同じような薬を出され高気圧酸素療法も受けました。その後も薬を飲み続けていました。

翌年2015年2月、今まで経験したことのない回転性のめまいと吐き気があり、救急車で日赤に行きメニエール病と診断されました。点滴を受け、帰宅しました。後日、再度同じ症状で日赤に今度は3日間の入院をしました。退院後、生活に気を付けながらその年は何とか無事に過ごしました。

ところが、昨年2016年5月再び回転性のめまいと吐き気で点滴を受けました。5月は気分の悪い日は多いものの何とか生活は出来ていました。6月になって更に症状が悪化し、布団で過ごす日々になりました。今の治療では治る気がしないという思いがあり、この状態がいつまで続くのか不安で眠れない日がありました。今まで健康であった有り難さを初めて身にしみて感じました。

そんな時、ネットで松本先生の「メニエール病は完治する」を読みました。遠方でしかも体調は最悪でしたが、治したい一心で7月初め、主人に付き添って貰い松本医院に行きました。その日の体調も最悪で家に帰ることが出来るのか不安で一杯でした。そんな状態で診察を受け、必ず治るからと握手をして貰いました。不安だらけで体調も最悪だったのにその言葉で気持ちが楽になり半分以上治ったみたいに体調が良くなりました。その時の事は今でも不思議だと感じます。先生は、薬も医者も手助けにはなるが、治すのは自分自身（の免疫）だとも言われました。お灸をして漢方薬とアシクロビルを貰いました。長い長い1日でしたが、帰りには不思議なことに体調が良くなって今までのことが嘘のようでした。

しかし、翌日から2週間、めまいが続きました。3週間目から徐々に良くなっていきました。8月の初め、2回目の通院でした。血液検査の結果、単純ヘルペスが増え、水痘ヘルペスは減り、リンパ球は下がっていました。今回は行き帰りも楽になりました。

3回目は今年2月でした。血液検査の結果は、単純ヘルペスは減り、水痘ヘルペスは増え、リンパ球は下がっていました。

現在は、時々耳鳴りが強いこともありますが、順調に良くなっています。ただ、高価な抗ヘルペス剤をいつまで服用するのかという悩みはあります。多くの患者さんが保険内で抗ヘルペス剤を服用出来る環境になることを強く願っています。

様々なことはありますが、更に免疫力を高め、必ず完治させます。松本先生ありがとうございます。



